

平成二十一年度

豊島岡女子学園中学校
入学試験問題

(一回)

国語

注意事項

- 一. 合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 二. 問題は 一 から 三、二ページから十九ページまであります。
合図があつたら確認してください。
- 三. 解答は、すべて指示に従って解答らんに記入してください。

□ 次の文章を読んで、後の一から十二までの各問いに答えなさい。

(ただし、字数指定のある問いは全て句読点・記号も一字とする。)

知った仲だけで生活していれば、だいたい名刺というものはいらぬ。子供の頃はそうである。一生おなじ土地から動くことになかった昔の人たちも名刺とは無縁であつたろう。いまでも田舎にいくほど名刺はいらぬ。1といつて、観光旅行や外国旅行でまったく見ず知らずの人たちに出会つても、名刺は不要であるだけでなく無力である。

2 名刺交換は個人間の相互行為ではなく、じつは異なる共同体(システム)の接点でおこる超個人的な現象なのであろう。「名刺社会」とは、共同体間の接点が増えてきた社会だということになる。いいかえれば人々がさまざまな共同体に分属しているといふことでもある。したがつて名刺には肩書き(共同体の表札)というものが不可欠である。

社会人として立ち混じっていると、いつの間にか手もとにたくさん名刺が集合してくる。じつさい、それは持てあますほどになるものだ。3 そういう自分も、日頃見さかなく名刺を世間にまき散らしてきたにちがいない。

「総生産と総消費はひとしい」とは名刺にこそあてはまる厳密法則である。二、三年に一度、集まつてきた名刺を整理する。ところがその大半は、名刺の持ち主が誰であつたのかスッカリ忘れてしまつてゐる。で、4 そのたびに奇妙な思いをあげわうのである。

5 その小紙片にはたしかに肩書き、名前がしるされてゐる。ところが、もはやその実体は煙りのようにかき消えてしまつてゐるのである。たぶん、私の名刺も先方の机上でおなじ運命にあつてゐるのだらう。私という記号内容が消えてしまつてゐる。「私は存在しない」。しかし、これはお互いさまで割り切るよりしかたあるまい。

ところで6 意味をうしなつた固有名詞とはいつた何であらう。せつかくの名刺もこうなると使ひようがない。たしかに「言葉の意味とはその用法である」(*L・ワイトゲンシュタイン)からだ。

名刺を記号表現とすれば、その名刺の人物は記号内容ということになる。記号内容を喪失した名刺とはいつた何だ。「浮遊する*シニフィアン」(*J・ラカン)とはこんな事態をさすのであらうか。*シニフィエが*剥落して記号の半面だけのこつたということであらうか。シニフィアンが紙の表とすればシニフィエは紙の裏だという。表だけあつて裏のない紙とは何だらう。裏側が真空になつたと解釈すれば、その空虚にむかつて勝手な想像や空想がドット侵入してくるのもおさえがたい。おおかた、物語というものはこんな事情で語りはじめられるのではあるまいか。

だいたい以前から名刺を貼りつけたメロンやスイカが店頭にならぶようになった。これは有機農産物や自然農法農産物などに多くみられる。名前・住所・電話番号だけでなく顔写真をかかげたものもある。略歴のはいつた丁寧なものも珍しくない。この場合、生産者本人にかわつて「スイカ」が名代として購買者に挨拶してゐることになる。ここには二重の記号作用がみてとれる。まず、スイカと名刺の関係がある。スイカを「7」とすれば名刺は「8」としてもよいであらう。つぎに、名刺の人物と名刺の関係がある。人物を「9」とすれば、名刺は「10」にならう。ところで、スイカを買つた人は名刺の人物を知らない。誰のものなのか忘れてしまつた名刺とおなじである。そして、そのスイカを食べてしまえば、スイカは消えて、あとに名刺だけのこる。11 のこされた名刺は、シニフィエの二重の束縛から自由になつたというわけだ。こういう名刺はいつたいどう解釈したらいいのであらうか。

名刺の肩書きは、その持ち主の*社会的座標である。しかし、食物としてのスイカの社会的座標とは何であらうか。スイカ相手の「A名刺交換」も厳粛の度がすぎると滑稽になるのもやむをえない。

食品表示の制度がある。これはスイカの頭に生産者の名刺を貼りつけることとどこがどうちがうのであらうか。すくなくとも、こちらにはスイカの名刺のような吹けばとぶような「軽み」はない。食品衛生法、薬事法、公正取引法などをウラづけとした、いわば真正正銘の*兌換紙幣なのだ。

食品表示の対象は、まず加工食品であつて自然物ではない。「純粋な*マチエール」としての食品原料に人為がくわつた物で

ある。人間の恣意しゐいが入りこんだ食品である。しかし、恣意しゐいが入りこんだそのとたんに食品の制度化がはじまるのである。恣意しゐいというのはいいかえれば「人間の都合」ということである。「人間の都合」を体系化すればすなわちこれが制度ということであろう。したがって、恣意しゐいは制度化によって現実化する。現実化する力は*公権力だ。こうして、その食品の社会的座標が強制的にあたえられる*仕儀しぎとなる。純粹無垢じゆんすいむくであるはずの食品は肩書きかたがをつけられて社会関係のなかに封じこめられるのだ。しかし、同時にこれによって加工食品ははじめて市民権を獲得かくとくして大手を振ってまかり通ることができるようになる。表示対象のうち、資格にあたるものはざっと以下のようなものがある。

- 品質の保証
- 品質規格・規準じきうそくの充足
- 安全性の確保
- 不当表示の防止
- 適正計量の確保
- 栄養の改善（ビタミン・ミネラルの添加など）
- 資源のリサイクル促進そくしん
- 消費者の保護
- 品質の向上
- 地域の振興しんこう（特産物）
- 新食品の適正表示

これらは制度の網あみである。いったん制度の網あみがかかると、しだいに網目あみめは細かく厳密になっていく。食品の肩書きかたがもそれにつれてだんだん増えていくというわけである。ところで、ここに有機農産物の適正表示に関する制度があらたに加わるようになった。

- 有機農産物
- 転換期間中有機農産物
- 無農薬栽培農産物
- 減農薬栽培農産物

これらは、自然物としての食品（農産物）の表示にかかわるものだ。加工食品に対する表示とは根本の哲学てつがくがちがつている。さきのスイカ生産者にかわって、公権力が「名刺交換めいしこうかん」を買ってでたというしだいである。12これらの資格基準は、農法の「分節」であることがわかりであろう。農法とは「作り方」である。焦点はスイカという農産物そのものから、「スイカの背景」にうつってきた。流通市場の前段階である農場が舞台となるのである。これは履歴書りれきしよに思想傾向や宗教・信条を記入させるようなものである。公権力が思想調査・宗教調査をおこなうというわけである。おなじ品質、おなじ食味でも13スイカの「考え方」が査定対象になるのである。

天下晴れて有機農産物表示をしたスイカは、もはやたんなる生産者の名代みようだいではない。なにしろ、いまやただのスイカではないのだ。14お墨付きすみつきの哲学・思想・宗教・信条をそなえた「独立した人格」なのだから。スイカが相手といえども、購買者こうばいしやとしては心して「B名刺交換めいしこうかん」をすることになる。スイカを食べおいても、表示は制度というシニフイエをのこすのである。が、それにしてもシニフイエなきあの浮遊する名刺めいしの「軽み」もなつかしい。

〔注〕 * L・ワイトゲンシュタインⅡオーストリアの哲学者。

* シニフィアンⅡ（フランス語）記号表現。言語を記号として考えたときに、その言語の持つ音声表現をいう。

* J・ラカンⅡフランスの精神科医、哲学者、精神分析家。

* シニフィエⅡ（フランス語）記号内容。言語を記号として考えたときに、その言語の持つ意味内容をいう。

* 剥落Ⅱはがれ落ちること。

* 社会的座標Ⅱ社会の中でどういう位置（立場）にあるかを示すもの。

* 兌換紙幣Ⅱ発券銀行が、いつでも額面金額に相当する金貨などの正貨と引き換えることを約束した紙幣。

* マチエールⅡ（フランス語）材料、材質。

* 公権力Ⅱ国家または公共団体が国民に対して命令し強制する権力。

* 仕儀Ⅱことのなりゆき。

問一 ―線1「といって」と同じ意味を持つ言葉として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア なぜなら イ あるいは ウ ところで エ けれども オ たとえば

問二 ―線2「名刺交換は個人間の相互行為ではなく、超個人的な現象なのであろう」とは、どういうことですか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 名刺交換は個人の価値観で行われるものではなく、所属する共同体の要請に応じて行われるものであるということ。
イ 名刺交換は個人同士の間に成立する行為ではなく、所属する共同体が違って初めて成立するものであるということ。
ウ 名刺交換は単にお互いの名前を教え合う行為ではなく、所属する共同体を比較する基準となるものであるということ。
エ 名刺交換は個人情報をお互いに伝える行為ではなく、異なる共同体の情報をお互いに交換するものであるということ。
オ 名刺交換は個人と個人のやりとりにとどまることなく、共同体間の社会的座標を明らかにするものであるということ。

問三 ―線3「そういう自分」とありますが、ここではどういう自分を言うのですか。本文中の言葉を使い、十五字以上二十字以内で簡潔に答えなさい。

問四 ―線4「そのたびに奇妙な思いを覚わうのである」について次のⅠ・Ⅱの問いに答えなさい。

Ⅰ なぜこのように感じるのですか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。
ア きちんと整理したはずなのに名刺の持ち主を覚えていないことに、自分でも合点がいかないから。
イ 結局持ち主を忘れてしまうのに、見さかなく大量の名刺を消費していた行為を愚かに感じたから。
ウ まき散らされた名刺の持ち主が忘れられてしまったことで、名刺の存在自体に、疑問が生じたから。
エ 二、三年に一度しか整理できず、名刺の持ち主を覚えられない今の状況に、嫌気がさしているから。
オ 持ち主を忘れてしまうこと、三年の記憶力の衰えに、動揺しながらも仕方なさを感じているから。

Ⅱ 筆者は「奇妙な思いを覚わう」と同時に、名刺の扱いについてどのように感じていますか。それを説明した次の一文の空らんに入る適当な言葉を本文中から七字で探し、抜き出しなさい。

いくら目の前にたくさんの名刺があっても

（7字）

と感じている。

問五 ―線5「その小紙片にはたしかに肩書き、くかき消えてしまっているものである」について次のⅠ・Ⅱの問いに答えなさい。

Ⅰ 「もはやその実体は煙りのようにかき消えてしまっている」とありますが、これはどのような状態ですか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア すでに名刺のデータを自分のファイルから消してしまった状態。
- イ もう名刺の色があせてしまい、表記が薄くなつてしまった状態。
- ウ いつのまにか名刺の持ち主との取引がなくなつてしまった状態。
- エ 整理したはずの名刺をはやくもどこかに紛失してしまった状態。
- オ 現在に至り、名刺の持ち主のことを完全に忘れてしまった状態。

Ⅱ ―線5にあるような「たしかに肩書き、名前がしるされている」が、「もはやその実体は煙りのようにかき消えてしまっている」、その「小紙片」を比喩的に表現している部分をこの後の本文中から十字程度で探し、抜き出さなさい。

問六 ―線6「意味をうしなつた固有名詞」とはこの場合、具体的に何を指しますか。本文中から最も適当な言葉を二つ探し、抜き出さなさい。

問七 空らん「7」「10」に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。（ただし、「シニファイアン」は記号表現、「シニファイエ」は記号内容という意味です。）

- | | | | | |
|---|-----------|-----------|-----------|------------|
| ア | 7 シニファイエ | 8 シニファイアン | 9 シニファイエ | 10 シニファイアン |
| イ | 7 シニファイエ | 8 シニファイアン | 9 シニファイアン | 10 シニファイエ |
| ウ | 7 シニファイエ | 8 シニファイエ | 9 シニファイアン | 10 シニファイアン |
| エ | 7 シニファイアン | 8 シニファイアン | 9 シニファイエ | 10 シニファイエ |
| オ | 7 シニファイアン | 8 シニファイエ | 9 シニファイエ | 10 シニファイアン |

問八 ―線11「のこされた名刺は、シニファイエの二重の束縛から自由になつたというわけだ」とありますが、名刺が「二重の束縛」を受けているとはどういうことですか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア スイカと購買者の関係、生産者と名刺の関係を明らかにしなければならないこと。
- イ スイカと購買者の関係、購買者と名刺の関係を明らかにしなければならないこと。
- ウ スイカと名刺の関係、購買者と名刺の関係を明らかにしなければならないこと。
- エ スイカと名刺の関係、スイカと生産者の関係を明らかにしなければならないこと。
- オ スイカと名刺の関係、生産者と名刺の関係を明らかにしなければならないこと。

問九 ―線12「これらの資格基準は、農法の『分節』である」とは、どういうことですか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア これらの資格基準の制度に、農産物の生産がしばられているということ。
- イ これらの資格基準が、生産されたものの食味を代弁しているということ。
- ウ これらの資格基準は、農産物の作り方を分類したものであるということ。
- エ これらの資格基準は、農場と流通市場を証明したものであるということ。
- オ これらの資格基準の表示は、加工食品を分別するものであるということ。

問十 ―線13「スイカの『考え方』」とありますが、これは何をたとえたものですか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア スイカの選び方
- イ スイカの買い方
- ウ スイカの売り方
- エ スイカの作り方
- オ スイカの食べ方

問十一 —線 14 「お墨付き」の用法として適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 彼女は私立中学校の水泳連盟お墨付きの実力選手だ。
イ 上司のお墨付きをもらって、会社を円満に退職する。
ウ 先生からクラス一のお墨付きをもらって、昆虫博士とのお墨付きをもらう。
エ 夏目漱石のお墨付きで文壇にデビューした大型新人。
オ 煮物が得意な彼女の料理の腕は専門家のお墨付きだ。

問十二 本文中の—線 A・B 「名刺交換」は、それぞれ異なる意味を持っています。次の 1～5 は—線 A・B のどちらの内容です

- 1 その内容は浮遊してしまいが「スイカ」に名前・住所などを貼ること。
2 「独立した人格」を通して食物としての社会的座標を印象づけること。
3 「スイカ」の生産者にかわり公権力が「スイカ」の生産方法を伝えること。
4 購買者が「スイカの背景」に勝手な想像や空想を侵入させて物語をつくること。
5 生産者本人にかわって「スイカ」がその名代として購買者に挨拶すること。

二

著作権上の都合により文章の掲載を省略しました。

問一 —線 1 「特殊な呪文となって響いたようだ」とはどういうことですか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 大きな夢と可能性を与えてくれるに違いない希望の言葉として聞こえたように聞こえること。
イ 一言で疲れを癒してくれそうな優しくあたたかい言葉として聞こえたように聞こえること。
ウ 興味や関心を持たせずにはおかないとても魅力的な言葉として聞こえたように聞こえること。
エ ふだんまったく耳にしたことのない意味不明な言葉として聞こえたように聞こえること。
オ おごそかな雰囲気をもった軽々しく口には出せない言葉として聞こえたように聞こえること。

問二 ―線2「その物体を太陽のほうへ翳^{かざ}してみせた」とありますが、敦志^{あつし}くんはなぜこのようなことをしたのですか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分が発見した石の不思議な色や形をよく見てもらうことで、隕石^{いんせき}であることをはっきりと証明できると思ったから。
イ 自分でも実のところ半信半疑だったので、光にあててよく見ることで隕石^{いんせき}であることをきちんと確認したかったから。
ウ 自分が隕石^{いんせき}を発見したにもかかわらず周囲が否定的なので、なんとしても証拠^{しょうこ}を突きつけてやろうとむきになったから。
エ なぞの物体を太陽に翳^{かざ}すというもつともらしいしぐさをすれば、隕石^{いんせき}であることを信じてもらえるだろうと考えたから。
オ なぞの物体を上に掲^{かか}げみんなによく見えるようにしてあげれば、自分を支持してくれる者もいるはずだと思ったから。

問三 空らん「3」に入る語として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 彫刻^{ちやうてく}的 イ 物語^{ものがたり}的 ウ 色彩^{しきさい}的 エ 儀^ぎ式^{しき}的 オ 神秘^{しんぴ}的

問四 ―線4「興奮した口調」とありますが、このときの敦志^{あつし}くんの様子の説明として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分の言葉を信じず今ごろになって隕石^{いんせき}であることを気づくなんて遅^{おそ}すぎると、周囲の関心^{かんしん}の薄^{うす}さにいらだっている様子。
イ 発見した物体が隕石^{いんせき}であることは間違^{まちが}いなく、そのことをなんとしても周囲に認めさせようと必死^{ひっし}になっている様子。
ウ 隕石^{いんせき}であることが明白^{めいはく}になったことで自^{おの}ずと事の重大^{じゅうたい}さが意識^{いしぎ}され、何も考えがまとまらず落ち着^{おち}くことができない様子。
エ まわりがどう思おうと隕石^{いんせき}を見つけたことは大発見にちがいない、自分はなんて幸運^{こうん}なんだろうと浮^うかれている様子。
オ 宇宙^{うちゅう}のことや隕石^{いんせき}が墜落^{つらく}したときの衝撃^{しょうげき}の大きさなどが矢継^{やつ}ぎ早^{はや}に想像^{さうぞう}され、あらためて大きな感動^{くंद}に包^{つつ}まれている様子。

問五 ―線5「ふたりのあいだに火花を見た気がした」とありますが、このとき葉^ははふたりのどのような思いを感じたのですか。「〜という思い」に続く形で、十字程度で答えなさい。

問六 ―線6「葉^はを試^しているようだ」とはどういうことですか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 敦志^{あつし}くんも女の子も葉^はがどちらの味方^{みかた}なのかはつきりさせないではおかないと思^{おも}いつめているようだということ。
イ 敦志^{あつし}くんも女の子も葉^はがどんな考えをもっているのか今こそはきちんと聞^きこうとしているようだということ。
ウ 敦志^{あつし}くんも女の子も無言^{むげん}のうちに、葉^はにどちらの意見^{いけん}が正しいかの判断^{はんぱん}をせまっているようだということ。
エ 敦志^{あつし}くんも女の子も第三者^{だいしやう}である葉^はの意見を参考^{さんかう}にして答えを出すしかなかったと考えているようだということ。
オ 敦志^{あつし}くんも女の子も黙^{だま}ってはいるが、自分の意見^{いけん}に葉^はが同意^{どうい}することを信じて疑^うわないうるようだということ。

問七 ―線7「隕石^{いんせき}よりも、そっちのほうがすごい気がした」とありますが、「隕石^{いんせき}よりも、そっちのほうがすごい」とはどういうことですか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 隕石^{いんせき}を見つけた敦志^{あつし}くんよりもふだんあまり笑^わわないのに笑^わ顔^{がん}を見せてくれた千晶^{ちあき}くんのほうがすばらしいということ。
イ 見つけたものが隕石^{いんせき}かどうかということよりも千晶^{ちあき}くんが笑^わ顔^{がん}をみせたことのほうがとても重大^{じゅうたい}事^じだということ。
ウ 隕石^{いんせき}が魅力的^{みりょく}だといってもそれ以上に千晶^{ちあき}くんを笑^わ顔^{がん}にさせた敦志^{あつし}くんの努力^{どりょく}のほうがすばらしいということ。
エ 隕石^{いんせき}の発見よりもふだんあまり笑^わ顔^{がん}を見せない千晶^{ちあき}くんが笑^わ顔^{がん}にさせたことのほうが価値^{かち}があるということ。
オ 千晶^{ちあき}くんを笑^わ顔^{がん}にさせた事実^{じじつ}に比べれば発見した石^{いし}が隕石^{いんせき}か否^{いな}かといったことは取るに足りない問題^{もんだい}だということ。

問八 空らん「8」に入る適当な漢字二字の熟語^{じゆく}を答えなさい。

問九 ―線 9 「敦志くんを取り囲んでいた人の壁が崩れはじめている」とはどういうことですか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 敦志くんのまわりに集まっていた人たちの隕石に対する興味や関心が薄れ始めているということ。

イ 隕石を見に敦志くんのまわりに集まっていた人たちが少しずつその場から離れ始めているということ。

ウ 隕石のうわさを聞きつけ興奮して集まっていた人たちが落ち着きを取り戻し始めているということ。

エ 敦志くんのまわりで隕石を見た人とまだ見ていない人が場所を交換し始めているということ。

オ 隕石を発見したことで敦志くんに集まっていたみんなの注目がなくなり始めているということ。

問十 ―線 10 「敦志くんのぬくもりかもしれない」について次のⅠ・Ⅱの問いに答えなさい。

Ⅰ このときの葉は敦志くんのどのような気持ちを感じていますか。最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 敦志くんの、葉に対していじらしく思う気持ち。

イ 敦志くんの、たくさんの人に気配りをする気持ち。

ウ 敦志くんの、宇宙に対してあこがれる気持ち。

エ 敦志くんの、隕石をいとおしく思う気持ち。

オ 敦志くんの、未知のものを期待する気持ち。

Ⅱ Ⅰで感じたことが具体的に表現されている一文を探し、その最初の五字を抜き出ささい。

問十一 この文章の説明として最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 隕石らしきものが見つかったという出来事を中心にして、隕石をめぐる子供たちそれぞれの思いを詩情豊かに描写している。

イ 現実の世界に非現実的な要素を持ち込むことで物語の事件性を巧みに生み出し、それによって人物間の対立の構図が一層鮮明になっている。

ウ 時間の流れにとらわれない描き方によって、子供であるからこそ理解できるような夢のある世界を描くことに成功している。

エ 隕石といったロマンを感じさせるものを作品の背景に置くことによって、逆に子供たちの現実的な生き方が鮮明になっている。

オ 子供たちのさまざまな考えを短い言葉で巧みにあらわしながら、信じることの大切さが直接的に読者に伝わるようにしている。

〔三〕 次の傍線部のカタカナを正しい漢字に直しなさい。(二画一画丁寧にはっきり書くこと。)

1 読書も夢中になりすぎると体にサワる。

2 生徒の家をコベツ訪問する。

3 シュウトク物を交番に届ける。

